

第18回 阪神高速事業アドバイザー会議〔現場視察〕 実施概要

1. 実施概要

- 1)開催日:2025年4月23日(水) 14:00~17:30
- 2)視察場所:港大橋及び災害対策本部室
- 3)出席者:井上委員、浦西委員、河合委員、正司座長、松坂委員(50音順)

2. 開催状況

①港大橋

現地を視察しながら概要及び地震対策を説明。災害対策本部室にて橋梁点検台車(Dr.RING)について説明。

②災害対策本部室

災害対策本部室の概要説明後、各機能について視察。



〔港大橋 視察状況〕



〔災害対策本部室 視察状況〕

また、現場視察後に意見交換会を行い、委員より以下の意見が出された。

- *Dr.RING の技術を他に応用し、維持管理に活用することが理想と考える。技術を展開することで最大パフォーマンスを発揮できる工夫があると良い。
- *災害時における初動活動には多くの情報を集約することが重要になる。社員が被害状況をシステムへの入力する際に躊躇しないような仕掛けを検討してはどうか。
- *本社に甚大な被害があった場合、災害対策本部を設置する拠点は本社から離れた場所にする事で更なる冗長化が期待できる。
- *地震発生時の体制を決定する際には、被害状況を適切に把握したうえで判断できるよう引き続き検討いただきたい。
- *災害対策本部室の仕組みには電力が欠かせないため、有事に必要な電力が確保できるよう十分に対策していただきたい。